

各 位

公益社団法人北海道観光振興機構
会 長 小 磯 修 二
(公印省略)

「令和 3 年度 ユニバーサルツーリズム推進事業（ホスピタリティ向上）」
の委託に係る企画提案の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当機構の事業推進に格別なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当機構では、標記事業に係る委託業務について下記の通り企画提案を募集することといたしましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

1. 事業名

「ユニバーサルツーリズム推進事業（ホスピタリティ向上）」委託業務

2. 参加表明

企画提案書提出の意向がある場合は、企画提案指示書 10.(1) に示す内容をメールでお知らせください。(様式なし、メール本文で可)

※参加表明期限：令和 3 年 6 月 18 日(金) 17 時

3. 提出物について

企画提案書及び見積書(※ 詳細は、企画提案指示書を参照してください)

4. 今後のスケジュール

- (1) 参加表明〆切 令和 3 年 6 月 18 日(金) 17 時
- (2) 企画書提出〆切 令和 3 年 7 月 7 日(水) 17 時
- (3) 企画審査会 令和 3 年 7 月中旬予定
- (4) 契約書の締結 令和 3 年 7 月下旬予定

5. その他

事業に関する説明会は実施いたしません。

<問い合わせ先>

〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 緑苑ビル 1 階
地域支援本部地域観光部 担当：亀山、稲村
電話：011-231-2900 fax：011-232-5064

E-mail：m_kameyama@visithkd.or.jp / inamura@visithkd.or.jp

令和3年度 ユニバーサルツーリズム推進事業（ホスピタリティ向上）
企画提案指示書

1. 委託業務名

「ユニバーサルツーリズム推進事業（ホスピタリティ向上）」委託業務

2. 事業目的

アフターコロナを見据え、様々な観光シーンにおいて誰もが安全・安心に道内旅行を楽しむことができる環境を整備するため、道民が主体となった「おもてなし」の機運醸成を図り、誰にでも優しい「観光立国・北海道」としての受入体制整備の推進を図る。

3. 委託期間

契約締結日から令和4年(2022年)3月4日(金)まで

4. 契約方法

公募型プロポーザル方式（価格考慮型）による随意契約

※企画内容提案に加えて価格についても審査基準の要素とします。

5. 予算上限額（消費税及び地方消費税相当額10%を含む。）

8,300千円

6. 業務内容及び実施方法

(1) 子ども向け啓発活動

① 概要

北海道が一体となって、観光におけるおもてなしの機運を高めていくためには、次の世代を担う子どもたちの意識啓発が重要となることから、旅行を通して家族でいろいろな体験を通じ、子どもの心身の成長を促す旅の計画創り「旅育」のワークショップを開催し、計画に沿って旅行してもらおう事で、北海道観光における「おもてなし」の重要性を体感してもらい、意識啓発と将来の観光需要拡大に繋げる。

② 実施内容

- ・ 道内の小学生低学年を対象に、旅育メソッドを活用したワークショップを複数回開催する。
- ・ 旅行雑誌に旅育の特集記事を掲載してもらう。
- ・ ワorkshopで活用する教育キットの制作を行う。
- ・ 道内テレビ局、又は道内ラジオ局番組内放送枠を確保し、道内の子供を対象とした「おもてなし」の機運醸成を図るための啓発を継続的に行う。

③ 実施期間・回数

- ・ テレビ、又はラジオ放送

期間：令和3年8月～令和4年2月中旬まで

回数：4回～8回程度を想定。 ※仕様等により調整可能。

- ・ 旅育メソッドセミナー

期間：令和3年8月～令和3年11月まで

回数：1回程度を想定。

※仕様等により調整可能。

※セミナーの開催はコロナウイルスの感染状況を踏まえて判断される。

なお、状況によってはオンラインでの開催を検討する。

対象：未就学児・小学生の保護者、教育関係者等

- ・ 旅の計画創り「旅育」ワークショップ

期間：令和3年8月～令和4年2月まで

回数：4回程度を想定。

※仕様等により調整可能。

※セミナーの開催はコロナウイルスの感染状況を踏まえて判断される。

なお、状況によってはオンラインでの開催を検討する。

対象：道内の小学低学年（フリーペーパー等メディア媒体により参加者を募集）

(2) 学生向け啓発活動

① 概要

北海道全体としての「おもてなし」の機運醸成に向け、北海道の経済や観光について学び、働くことへの意識が高まる時期である高校生を対象としたおもてなし講座を行う。

② 実施内容

<講座内容（例）>

- ・ 観光おもてなし講座、アイデア考案して自治体やメディア等で紹介。
- ・ 「ホスピタリティと礼儀作法」講座（ホスピタリティとは、おもてなしとは、礼儀作法とは、サービスとの違いとは（演習））
- ・ おもてなしの心ー日本の心、おもてなしの心とは（思いやりと優しさの心遣い、自然にいかされていることに感謝する）等。

③ 実施期間・回数

期間：令和3年8月～令和4年2月中旬まで

回数：4回2時間程度（道内4地域各1回）を想定。

※仕様等により調整可能。

※セミナーの開催はコロナウイルスの感染状況を踏まえて判断される。

なお、状況によってはオンラインでの開催を検討する。

対象：北海道内の高校生（フリーペーパー等メディア媒体により参加者を募集）

④ 検証結果の取りまとめ

研修会開催時に効果検証のアンケート調査を実施し、研修終了後に速やかに取りまとめて概要版として報告し、詳細版は事業完了報告書に掲載すること。

(3) 日本語を活用したホスピタリティ向上研修

① 概要

「おもてなし」の機運醸成を北海道全体へ波及させるため、観光関連事業者・団体のみならず、道民を対象とした啓発を行う。

② 実施内容

「やさしい日本語ハンドブック」を活用し、「おもてなし」の気持ちを分かりやすく伝え、道内外からの来道観光客をあたたくお迎えするため、研修会を実施する。

<研修内容(例)>

- ・ やさしい日本語の使用方法
- ・ やさしい日本語でおもてなしするコツ

③ 実施期間・回数

期間：令和3年8月～令和4年2月中旬まで

回数：1回2時間程度、4地域（札幌、その他3地域）を想定。

※仕様等により調整可能。

※セミナーの開催はコロナウイルスの感染状況を踏まえて判断される。

なお、状況によってはオンラインでの開催を検討する。

④ 対象：観光関連事業者・団体、道民 等

⑤ 検証結果の取りまとめ

研修会開催時に効果検証のアンケート調査を実施し、研修終了後に速やかに取りまとめて概要版として報告し、詳細版は事業完了報告書に掲載すること。

(4) 事業の取り組みを広報するパブリシティの実施

より幅広い年代層に啓発できるよう、新聞以外のメディア（SNS、フリーペーパー、ホームページ等）も活用し、有料・無料で獲得できるパブリシティについて、提案すること。

① 道内の新聞、テレビ、雑誌、WEB掲載等

② 現地の新聞、テレビ、雑誌、WEB（ブログ、SNS）、フリーペーパー等

(5) 事業終了後、上記活動の結果、及び得られた成果等に関する報告書を作成。

印刷2部及び電子データ（USB等に格納の上）により提出のこと。

7. 企画提案応募条件等

- (1) 複数の企業等による連合体（以下「コンソーシアム」という。）又は単独企業等とする。
- (2) コンソーシアムの構成員及び単独企業は、次の要件を満たしていること。
 - ① 次のいずれかに該当する者であること。
 - ・ 民間企業
 - ・ 特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）に基づく特定非営利活動法人
 - ・ その他の法人、又は法人以外の団体等
 - ② 暴力団員又は暴力団関係事業者に該当しない者であること。
 - ③ 提案事項を的確に実施する能力を有する者であること。
 - ④ コンソーシアムの構成員が単独企業又は他のコンソーシアムの構成員として、この企画提案に参加する者でないこと。

8. 審査基準

企画提案は次の項目を審査し、総合的に判断する。

- (1) 企画提案の目的適合性
実施内容が、事業目的を達成させるために効果的であるか。
また、実施内容は、ホスピタリティの向上に資するものか。
- (2) 実現性
事業の組み立てに具体性があり、実現可能な内容・スケジュールとなっているか。
- (3) 業務遂行能力
事業実施のためのノウハウを備えており、業務を遂行する能力があると判断できるか。
- (4) 経済合理性
費用対効果が高い提案となっているか。

9. 事業者決定までのスケジュール

- ・ 令和3年(2021年)6月18日(金) 17時 参加表明 締切
- ・ 令和3年(2021年)7月7日(水) 17時 企画提案書 提出期限
- ・ 令和3年(2021年)7月中旬 企画提案の審査(審査会)
- ・ 令和3年(2021年)7月下旬 委託事業者決定・契約

10. 企画提案書の提出

- (1) 参加表明 令和3年(2021年)6月18日(金) 17時 締切
 - ※ 特に様式はなく、メール本文で可(E-mail:m_kameyama@visithkd.or.jp)
 - とするが、以下の①～⑥の内容を記載のこと。
 - ①会社又は法人名、代表者名 ②所在地 ③電話番号 ④FAX番号⑤担当者名
 - ⑥連絡用メールアドレス
 - ※ コンソーシアム又は協力会社がある場合は、それぞれにつき、上記①～⑥の内容
- (2) 提出期限 令和3年(2021年)7月7日(水) 17時

- (3) 提出場所 札幌市中央区北3条西7丁目1-1 緑苑ビル1階
公益社団法人北海道観光振興機構
地域支援本部 地域観光部（担当：亀山、稲村）
- (4) 提出部数 6部（会社名、業務従事者氏名を記載したもの1部、記載しないもの5部）
- (5) 提出方法 提出場所に持参又は郵送（※ファクシミリ、メールでの提出は不可）

11. 企画提案書作成上の留意点

- (1) 様式の規格はA4判サイズとし、冒頭に企画提案書の全体構成を記載し、企画提案書の頁数は全体で30頁以内とすること。
- (2) 企画提案書の作成にあたっては、企画提案の考え方のほか、下記の項目について記載すること。
 - ① これまでの事業実績
提案者の業務内容及び本事業類似事業の実績について過去3年分を記載すること。
 - ② 業務実施体制
当該事業の業務実施体制について、業務担当者をはじめとする企画提案者の体制のほか、協力会社等を明記し、具体的に記載すること。なお、本事業は実施内容が多岐にわたり、業務量が多くなることが予想されるため、実施体制については特に詳細に記載すること。なお、提案者名を記載した企画提案書の1部にのみ業務担当者名及び協力会社名を記載し、残りについては、「A」、「B」等の表現を用いて記載すること。
 - ③ 業務スケジュール
委託業務開始から終了までのスケジュールを具体的に記載すること。
 - ④ 見積書
費用項目の明細を記載すること。
*交通費、宿泊料、謝金、広告宣伝費 等

12. 企画提案に関する審査

- (1) 企画提案書の内容について、プレゼンテーション及びヒアリング（以下「審査会」という。）を実施する。日時及び場所については、別途通知する。
- (2) 審査会に参加されない場合は棄権とみなす。
- (3) 審査会時の追加資料の配付については認めない。

13. 留意事項

- (1) 企画提案書の作成・提出に係る費用は企画提案者の負担とする。
- (2) 提出された企画提案書は返却しない。
- (3) 提出期限を過ぎての企画提案書の提出、資料の追加及び差替えは認めない。
- (4) 公平性、透明性、客観性を期するため、提出された企画提案書を公表する場合がある。
- (5) 業務内容の詳細については、企画提案の内容を基本として、北海道観光振興機構と受託者が協議して決定するものとする。
- (6) 業務遂行にあたっては、北海道観光振興機構との連携・調整を密に行うとともに、迅速かつ的確

な対応及び効率的な手法により十分な成果が得られるよう努める。

- (7) この企画提案指示書の内容に疑義が生じたときや定めのない事項については、
- (8) 北海道観光振興機構と受託者が協議のうえ、処理するものとする。
- (9) 著作権、肖像権等に関して、権利者の許諾が必要な場合は、受託事業者において必要な権利処理を行うこと。
- (10) 委託契約に係る業務処理に伴い発生する特許権、著作権その他すべての権利は、北海道観光振興機構に帰属するものとする。
- (11) 手続きで使用する言語及び通貨は、日本語及び日本円とする。

14. 問い合わせ先

公益社団法人北海道観光振興機構

地域支援本部 地域観光部 担当：亀山、稲村

電話：011-231-2900 FAX：011-232-5064

E-mail：m_kameyama@visithkd.or.jp / inamura@visithkd.or.jp